

テーマ②新たな価値をつくるまち「新たなまちの移動ビジネス企画」

コンパクトなまちにフィットする、スマートで使いやすく、安全でクリーンで維持コストが低い、効率的な移動や交通に関するビジネス企画を募集します。

背景と課題

横須賀の人口減少

横須賀市の人口は、1990年の約43万3千人をピークに急速に減少し、2018年2月には、41年ぶりに「40万人」を下回りました。将来的には、2040年に30万人台前半に、2060年に22～23万人（最盛期の半数程度）になることが予測されています。

人口減少による影響の予測

このような人口減少は、将来、利用者の減少に伴うバスの便数の削減や路線の廃止、消費者の減少による商業施設の撤退、閉鎖を引き起こす可能性があるとして予測されています。

影響に対応したまちづくり

公共交通の利便性の低下や、商業施設の減少に対して、まちの機能を中心に集中させて、その近隣に暮らすコンパクトなまちづくりが提案されています。

【参考資料】

・横須賀市の将来人口と課題の考察（平成30年6月）
<http://www.yrp.co.jp/sumamobi/report/20180627/doc3-1.pdf>

ビジネス化のヒント

コンパクトなまちにフィットする、スマートで使いやすく、安全でクリーンで維持コストが低い、効率的な移動や交通に関するビジネス企画を募集します。

持続的に成長可能なまちを支える移動ビジネスは、人口減少が進む日本社会に先行し、世界的なモデルとなるものとして期待されます。

◆新しいまちの公共交通の形

まちの拠点間を効率的に運行・巡回し、低い維持コストでまちの移動を支える公共交通が求められています。

◆交流しながら利用するシェア型交通

地域や職場で交通手段を共有し、ICTを活用して便利にシェアし、交流しながら利用する仕組みが求められています。

◆新感覚の移動手段

自転車感覚でまち中で乗りこなせる気軽でクリーンなパーソナルモビリティなど、新しいまちにフィットする移動手段が求められています。

◆移動手段の効果的な組み合わせ

様々な移動手段を提供するとともに、それらの効果的な組み合わせをICTを活用して支援し、マイカーに頼らない社会を実現するサービスが求められています。